

定時制課程 3年・日本史 A「第一次世界大戦と大正デモクラシー」

■本時の目標

- 第一次世界大戦前後の欧米からアジアに至るまで広い範囲の国際環境の推移に着目させる。
- ドイツへの宣戦など第一次世界大戦をめぐる日本の外交政策について考察させる。

■タブレットを活用するねらい

- 協働学習によってもたらされた成果を全体で共有し、他者との意見を比較したり、統合することを通じて、思考を深めさせる。

学習活動の概要	
導入 A1	<p>○本時の内容の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年表を見て、本時で扱う内容の時代がどの時代区分に当たるのかを確認する。 • 第一次世界大戦の日本の動きを既習事項から考える。
展開1 A1	<p>○世界情勢の急変</p> <ul style="list-style-type: none"> • 革命運動以降、急速に変動する中国の情勢を理解する。 • 三国同盟と三国協商の構図から、第一次世界大戦前のヨーロッパの状況を理解する。
展開2 A1	<p>○第一次世界大戦の勃発</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヨーロッパにおける第一次世界大戦の概要を把握し、ノートに整理する。 <p>○日本の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本の外交政策と参戦について、教科書のドイツの権益図から読み取り、考える。
展開3 C1	<p>○第一次世界大戦後の日本の動き等について、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第一次世界大戦の日本の動きをまとめ、日本への影響について考える。 • グループで協議し、グループとしての考察を行う。
まとめ A1	<p>○本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> • それぞれのグループの考察を見て、自らの考えを比較したり統合し、さらに考察を深める。



■生徒の変容（感想・授業中の発言等）

- プロジェクタでスクリーンに投影した画像と手元のタブレット PC への表示を併用することで、より鮮明に資料を読み取ることが可能となり、理解が深まる。
- 投票機能により、クラス全体の生徒の実態把握が可能になり、教師は個別に指導することができる。また、他者の考えが視覚的に明確になることで、関心が高まる。
- 他者の考えを視覚的に比較、検討できるため、様々な意見を統合し、思考を深めることができる。